

議会だより



東彼杵町は県内で唯一、大阪・関西万博の共創パートナーに登録しています。
また、地方創生SDGsフェスに出展し町を体験・体感できるブースを展開しました。

もくじ

- | | |
|--------|-------------------|
| 2～3ページ | 6月定例会（補正予算・条例改正等） |
| 4～7ページ | 一般質問（3名） |
| 8ページ | 新しい議会の構成 |
| 9ページ | 全員協議会報告 |
| 10ページ | 新築工事中の（仮称）新駅地団地等 |

東彼杵町ホームページ
議会情報



案の内容



上下水道事業経営審議会条例の制定について

全会一致可決

本町の水道事業及び下水道事業の経営に関する審議を行う審議会を設置するにあたり、必要な事項を定めるため。(主な内容)

① 審議会の役割

町長の上下水道事業の経営に関する諮問に応じ、必要な事項について調査及び審議を行い、答申するのが役割です。

② 組織 (学識経験者、水道使用者、下水道受益者、各種団体等 10名以内)

一般会計補正予算 (第2号、第3号)

全会一致可決

① 地域おこし協力隊の委託料 (370万円)

1名分の委託料です。地域おこし協力隊員数は、合計8名となります。

② 農業資材価格高騰対策緊急支援事業補助金 (694万円)

イチゴ農家の燃油等を半額支援するものです。

③ ドローン購入費 (319万円、1機)

消防団が、防災用として活用するものです。



④ コンテナハウス購入費及び建築確認申請業務委託料等 (990万円)

東彼杵中学校敷地内に設置され、スクールバス運転手の待機場所となります。



⑤ 小学生修学旅行費用に対する助成

9月10日から12日にかけて、彼杵及び千綿小学校の合同修学旅行(54名)が大阪・関西万博を主体に計画されています。

児童1名にかかる費用は、約8万6千円と見積もられています。その内、国から4万円の補助と町から1万円の補助を加え、保護者の負担を例年の修学旅行費用と同等にするものです。



水道事業会計補正予算 (第1号)

全会一致可決

収益的支出において上下水道事業経営審議会委員の報酬として30万円を追加し、総額2億4382万円となりました。



6月定例会

主な議

下水道事業会計補正予算（第1号）

全会一致可決

資本的支出において千綿川河川用地境界確認の測量業務費として委託料50万円、蔵本地区宅地第2期造成に於ける下水道管路整備費として工事請負費957万円を追加し、総額2億2255万円となりました。

町道西部線（2）口木田踏切改良工事に関する請願

口木田踏切改良工事推進協議会（代表）宮脇喜八郎氏から提出された請願は、緊急車両や通行の安全に不安があるため、口木田踏切の移転を含めた改良工事の推進を求める請願である。

【賛成意見】

- ・人命が最優先されるべき。踏切は幅員が狭く脱輪事故が多く列車を停車させた事例がある。
- ・救急車や消防車が大型化しており進入が困難で緊急時に時間を要している。
- ・里道が寸断されており、海岸清掃等勝手踏切を通らざるを得ない状況で、JR・国土交通省・川棚警察署の担当者と何度も踏切改良工事について詳細な協議を実施しており、有効な過疎債を活用できる。

【反対意見】

- ・4世帯の生活道路利便性向上のために3～4億円の事業費が見込まれ、費用対効果に乏しく、町内にはもっと優先すべき箇所が多数ある。
- ・20～30年後に、何世帯がこの町道を利用されるのか疑問である。
- ・議会で否決された事案が請願されること自体が適切でない。

賛否表

○賛成 ●反対

	尾上	児玉	構	吉永	大安	大石	口木	審議の結果
町道西部線（2）口木田踏切改良工事に関する請願	○	○	○	●	○	●	○	採択

人事

- ・東彼杵町教育委員会委員に任命（任期：令和7年7月1日から4年間）

同意

案件

池田 孝之氏（蔵本）

- ・東彼杵町固定資産評価審査委員会委員に選任（任期：令和7年7月1日から3年間）

同意

宮脇 成芳氏（口木田）

一般質問



紙代、印刷代などコスト削減、環境保護、SDGs の取組みとして、6月定例会からタブレット端末を使用したペーパーレス会議を実施しました。

皆さんは
どんなテーマに関心がありますか？

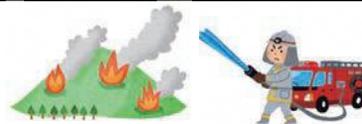


6月定例会は、**3人**が登壇

P. 5 小学生修学旅行費の助成は？



P. 6 山林火災の対策は？



P. 7 荒廃する森林の対策は？



※一般質問の動画(DVD)は、図書室(歴史民俗資料館内)にて貸出を行っています!

議員

小学生の修学旅行費用、 助成すべきでは

町長

助成する方向で検討します。



おおいし しろろ
大石 俊郎

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)

マックスバリュは、 いつ進出するの？

【議員】 役員会議において、東彼杵町への進出は決定されたのですか。

【町長】 イオンは本町での事業に限らず、複数事業を戦略的に進められており、現在も調整中とのこと。

介護不正請求事案、 何故発生？

【議員】 合同会社grace(蔵本郷)の事業開始は昨年3月でした。

短期間での350万円に及ぶ不正請求事案が匿名の通報により発覚しました。その間、監督や行政指導は、どのようになされましたか。

【長寿ほけん課長】

実地指導は、3年に1回の割合で行うことと本町の内規で定めています。

今回、当事業所の開所が令和6年3月であり、令和8年度に実施の予定でした。

【議員】

町の行政処分は三つでした。

① 介護報酬350万円の返還

② 加算金140万円の支払い

③ 新規利用者の受け入れ停止6ヶ月間

今回の行為は「詐欺罪」若しくは「業務上横領罪」が成立する可能性が高い事案です。

何故、警察に刑事告訴されなかったのですか。

【町長】

この事案につきまして、県と詳細な打合せをしまして、この処分で行くということと、決定をさせて頂きました。

修学旅行、安全・安心 は万全なの？

【議員】

第1日目の打ち合わせ・予行練習はどのようなことをされるのですか。

【教育長】

テーブル茶道みたいな形でお茶を振る舞う練習とオランダ館や他のパビリオンを見る程度しか出来ないのではと聞いております。

【議員】

旅行日程は9月上旬です。

熱中症対策は。

【教育長】

大屋根リング周りには、ベンチもあり、医務室も用意され、養護教師も2名同行致します。

【議員】

保護者説明会資料によれば「安全・安心が万全」と記載されています。

万博会場内で迷子になった場合の対策は。

【教育長】

班行動で引率教師を一人つける体制をとります。

もし、迷子が発生した場合、インフォメーションが頼りです。また「ここに来なさい」と明示するような処置が必要と思っています。

【議員】

迷子リストバンドもあります。活用されて下さい。費用の1/2が国から補助されるとあります。保護者の負担はいかほどですか。

【教育長】

国から一人当たり4万円を超える助成があり、保護者の負担は4万円になると思います。

【議員】

昨年の修学旅行費用はいかほどでしたか。

【教育長】

彼杵小が約2万円、千綿小が約2万5千円でした。

【議員】

本旅行は、町の事業に小学生が活用されているのではという声があります。

であれば一定額を町が補助し、保護者の負担を軽減されるべきでは。

【町長】

小学生を町の事業に活用しているという認識はありません。

助成については、検討致します。

【議員】

旅行に参加しない児童に対する対応は。

【教育長】

大石議員ご指摘のように、経済面・安全面に対して、保護者の方へ丁寧に対応してまいります。



議員

山林火災の対応対策について

町長

県、国、自衛隊、近隣市町へ協力要請

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)



かまま ひろみつ
構 浩光

山林火災の対応・対策は

〔議員〕
3月定例会の折、団員定数が379人から342人に、見直しされましたが、現在従事されている消防団員数及び不足団員数は。

	定数	人数	差引
本 団	16	17	1
1分団	44	39	▲5
2分団	52	40	▲12
3分団	38	39	1
4分団	38	32	▲6
5分団	45	42	▲3
6分団	43	38	▲5
7分団	33	32	▲1
8分団	33	26	▲7
計	342	305	▲37

〔町長〕

〔議員〕
町の団員募集の取組みは。

〔町長〕

県から送付される団員募集ポスターを役場、総合会館、地区公民館に掲示。令和3年から町内小学校へ出向き、消防団活動・講話を実施。

〔議員〕

山林火災が発生した場合、町として協力団体とどのような対策をとられるのか。

〔町長〕

山林火災が発生した場合、常備消防の後方支援として本町消防団と連携し鎮圧・

鎮火に努める。大規模火災は、県や国、自衛隊、近隣市町と締結している応援協定に基づき協力要請を行う。

〔議員〕

町有林及び分収林の管理状況は。

〔町長〕

一部の町有林は、郡森林組合と長期森林管理業務委託締結。委託範囲の拡大に向け協議中。分収林は、地元との維持管理が困難な状況で、34団体中25団体と解約合意書を取り交わし、町の維持管理となり郡森林組合と協議中。

〔議員〕

防火・防災計画及び山林火災の対応・対策について。

〔町長〕

昨年6月に防災会議で地域防災計画を作成。林野火災予防は、消防体制の確立。火災を防止するため指導・啓蒙に努めている。

町道3路線の

通学安全確保は

〔議員〕

蔵本2号線の速度規制は、40kmとなっており30kmに変更及び『ゾーン30』に範囲の拡大ができないか。

〔町長〕

川棚警察署に確認したと

ころ、地域住民等から要望があれば速度規制の協議は可能。生活道路における法定速度は、令和8年9月1日施行の改正道路交通法施行令により、60kmから30kmに引き下げられる予定で『ゾーン30』の拡大は、検討していない。

〔議員〕

大野原高原線（一ノ瀬橋から国道34号）で制限速度を超過した車の対応策は。

〔町長〕

速度違反車両の情報を受けた場合、その都度川棚警察署へ報告する。

〔議員〕

宿6号線本町公民館付近のハンブ（凸部）の設置効果及び他の路線でも設置できないか。

〔町長〕

地域住民から減速し通過し一定の効果はあっていると聞いている。『ゾーン30』の区域内は設置可能。



パンプ
(凸部)

〔議員〕

学校教育で交通安全教育の内容について

〔教育長〕

千綿小学校4月16日、彼岸小学校4月15日。1年生から3年生は、公道を使つた歩行訓練。4年生から6年生は、講話、運動場で実技指導を伴う自転車教室。指導は、交通安全指導員、川棚警察署の協力のもと実施。

水道使用量5m以下 の単価設定は

〔議員〕

県内で10m未満の5m等設定している自治体は。

〔町長〕

13市7町の内12市6町が設定、単価設定ないのは、本町を含め1市1町です。

〔議員〕

高齢者一人世帯、公園、ゲートボール・ランドゴルフ場、墓地等は、1か月5m使用してないが、下水道同様に料金設定できないか。

〔町長〕

給水人口減少で収益は悪化、施設維持に要する費用は増大し経営の安定化を考えると、5m以下の料金設定は厳しい。審議会を設置し料金改定等を検討する。



トイレ

下三根広場
月1m使用

議員

荒廃する森林の対策は

町長

財源を確保し対策を考える



こだま たかゆき
児玉 隆行

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)

荒廃する森林への対策 や助成強化策は？

【議員】 森林を健全に保つことが災害発生を未然に防ぎ、町民の安全や財産を守ることに繋がる。

集落等で共同管理されている山林は、高齢化で継続困難な状況である。また、耕作放棄地も竹林や木が生い茂り、森林面積が増えている状況を踏まえ、更なる対策や助成が必要と考えるが。

【町長】 町の生き残りのためにも山林の整備は必要である。財源を確保しながら、何らかの対策を考える。



適正に管理された健全な山林



拡大する竹林、混合林

入札・契約の 公平性・透明性は？

【議員】 入札不正防止のためランダム係数がある。決定方法が一部公開されていないが、全てを公開にして、透明性を確保してはどうか。

【町長】 公開ランダムの方が透明性はある。今後、考える。

【議員】 公費を投入するのであれば、町内業者の受注が、雇用の安定や増収にも繋がる。町内業者の受注を優先する考えはないか。

【町長】 私も同じように考えている。要綱等で定めているため、業者数が足りない場合は、町外の業者を入札に参加させている。今後、検討する。



入札会場の様子

学校教育を問う

【議員】 今年度から公立小中学校の全てにおいて、スクールバスが導入された。バス利用の児童・生徒の数と割合は。



中学校スクールバス

【教育長】 バス利用対象者数は、千綿小71名(70%)、彼杵小74名(35%)、東彼杵中93名(60%)である。

【議員】 小学校の修学旅行が、大阪・関西万博が行先となっている。この修学旅行の意義は。

【教育長】 オランダ王国での異文化交流を通じ、国際理解と「そのぎ茶」を来場者に振る舞い郷土愛やシビックプライドの醸成を図る。



大阪・関西万博会場

新しい議会の構成（令和7年6月～）



常任委員会

- ・ 総務厚生常任委員会（7名）
- ・ 産業建設文教常任委員会（7名）

議会運営委員会

特別委員会

- ・ 議会広報編集特別委員会（7名）
- ・ 議会改革特別委員会（7名）

※委員会は、議長を除く全ての議員が所属しています。



（議長）浪瀬 真吾



（副議長）口木 俊二

議会の仕事は、範囲が広く内容も複雑となっています。
このため事業ごとに分かれて専門的に調査し、議案や請願・陳情等の審査を実施します。

総務厚生常任委員会



（委員長）大石 俊郎



（副委員長）吉永 秀俊

【所管事項】

総務課、税財政課、会計課、町民課、長寿ほけん課、こども健康課、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の委員会に属さない事項

産業建設文教常任委員会



（委員長）大安 義和



（副委員長）尾上 庄次郎

【所管事項】

建設課、産業振興課、水道課、農業委員会及び教育委員会の所管に属する事項

議会広報編集特別委員会



（委員長）兎玉 隆行



（副委員長）構 浩光

わかりやすく読みやすい紙面づくりを大切にしながら、原稿作成、写真撮影、発行まで行っています。
定例会に関する広報誌は、各定例会の翌月に発行しています。



全員協議会報告

全員協議会とは： 町政の重要な問題について検討するために議員全員が集まって開かれる会議です。議案などの審議・審査は行わず、町長などの執行機関から事前説明を受けたり、意見を述べたりします。

(1) 東彼杵町小中一貫教育導入検討委員会の答申

令和6年2月から開催されている検討委員会において、導入の是非、課題と懸念、具体的な提案、期待される効果などが審議されています。

各委員からは、導入に賛成する意見が多く出され、教職員や保護者からも連携教育への期待が大きく、豊かな人間性や社会性の育成は、これからの社会において子供たちが身につけるべき資質であり、「導入」の方向で進めていくとのことでした。

(メリット)

- ・「中一ギャップ」に起因する不登校が減少する。
- ・安心して中学校へ進学でき、縦横のつながりを経験し社会に出た時の力の育成ができる。

(デメリット)

- ・既存の校舎の立地条件では難しい。
- ・教職員の負担増や働き方改革との両立が難しい。

(2) 東彼杵町立小・中学校の学期の見直し

(方針)

各校の意見を尊重したうえで、令和8年度より実施の方向を目指す。意向によっては、実施なしの場合もある。

(目的)

- ・ゆとりある教育課程の編成により児童生徒に向き合う時間の確保。
- ・児童生徒の夏休み生活から2学期の学校生活へのゆるやかな切替を行う。
- ・小中連携を進めやすくする。

(今後の予定)

- ・7月 町内校長会で最終調整
- ・10月 保護者、関係機関にお知らせ文書配布
- ・11月 各学校からPTA懇談会等で説明

(3) (仮称) 東彼杵町工業団地開発の優先交渉事業者公表

令和7年6月11日、優先事業者が決定し、今後は、大和ハウス工業株式会社(大阪市)と長崎県、東彼杵町の3者で、具体的なスケジュールが協議されます。

(4) 新庁舎整備外部有識者会議の答申

新庁舎整備に係る基本設計について、東彼杵町振興懇話会(有識者会議)は、岡田町長へ審議の結果を答申されました。

① 配置計画や構成などの平面計画(2階建て)

(各階の整備：国道側に正面を配置。利用者の多い部署を1階へ集約など)

② 導入する機能

(災害対策本部は、浸水影響がない場所へ設置、利便性に配慮した駐車場等の確保)

③ 新庁舎設備に必要な事項

(耐震性、耐久性、工期、建築コスト等のバランスを考慮し鉄筋コンクリート造または、鉄骨造で検討し内装は、木材を積極的に使用することなど)

新築工事中の(仮称)新駄地団地



令和7年6月中旬(撮影)

- ・令和7年12月の竣工に向けて工事が進められ、5月末現在の進捗率は28.3%です。
- ・新しい名称の募集は、5月末で締切られ、7月に審査会で決定します。
- ・一部3階建て24戸の建築工事費は、約6億7千万円で、入居者募集は、令和8年1月(予定)とされています。

東彼杵道路の早期事業化を陳情

令和7年5月28日東彼杵郡町村議会議長会は、国土交通省(道路局長など)に早期事業化を求め陳情書を手渡しました。国道205号は、慢性的な交通渋滞が発生しており、特に事故発生時や災害時には代替道路がないことから、沿線住民の日常生活や経済活動に支障をきたすとして、早期の着手を求めました。

(議長、副議長出席)

令和7年度
陳情書

令和7年5月

長崎県東彼杵郡
町村議会議長会

市民の皆様「見やすい」、「読みやすい」紙面づくりを目指しています。

(議会広報編集特別委員会)